

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	1	課題区分	C	令和4年(2022年)3月 30日		
横断的な課題	1地域資源の活用・磨き上げによる観光振興【観光地域づくり】							
地域重点政策	3地域の強みを生かし健康をテーマとした観光地域づくり						上田地域振興局	
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	農地整備課		
事業名	農業資産の魅力度アップ事業				電話	0268-25-7130		
					E-mail	uedachi-nochi@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	棚田やため池、疏水(農用用水)など農業資産をより観光資源として磨き上げるため、「見たい・行きたい」の先にある「体感・実感」できる個々の魅力度を高める。						
	現状と課題	これまで、農業資産を観光資源として活用を図るため、魅力発信のPR動画を作成し、YouTubeや銀座NAGANOでの放映など、様々な媒体と通じ県内外の誘客につなげる情報発信を展開。一方、農業資産は景観としての魅力はあるものの、そこで学び楽しむなど時間をかけ滞在につながる魅力ある観光資源とはなりえていない。						
	内容 (変更後の内容)	<p>農業資産の持つ多面的機能を活用し、景観的魅力から「体感・実感」できる魅力度を高める</p> <p>1 ため池が持つ「歴史や伝統文化」を学び実感するパンフレットの作成 ・印刷:3000部、配布先:全国ため池フォーラム参加者、近隣小学校、観光施設ほか ・連携団体等:ため池フォーラム実行委員会(県、上田市、長土連)、ため池保全団体</p> <p>2 棚田が有する「豊富な生態系」を学び体感するプログラムの構築・開催 ・大学と連携し、小学生等を対象にした環境学習を行う体感プログラムを構築する ・ため池保全団体等に体感プログラムを紹介し、ノウハウを共有することで横展開を図る ・連携団体等:稲倉の棚田保全委員会、大学</p>						
	事業期間	R3年(2021年) 4月			～	R4年(2022年) 3月		
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	ため池の歴史や伝統文化を学ぶパンフレットの作成	ため池の歴史や言い伝えをパンフレットにまとめ、観光活用を図る	249,810	委託費(基礎資料とりまとめ)99千円 印刷製本費 150千円				
	棚田が有する生態系の体感プログラムの構築・開催	棚田が有する多面的機能(豊富な自然)を教育や観光資源としての活用を図る	157,300	環境調査委託費 157千円				
	合 計		407,110					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	棚田の多面的機能を活用した体感プログラムの造成		一式	一式	● 達成			
					○ 一部達成			
					○ 未達成			
事業実績・成果	<p>【ため池の歴史や伝統文化を学ぶパンフレットの作成】 塩田平のため池を愛する会の協力のもと、パンフレットを作成した。</p> <p>【棚田が有する生態系の体感プログラムの構築・開催】 稲倉の棚田を対象として、長野大学の協力のもと生態系調査を実施し体感プログラムを作成した。プログラム作成にあたっては、稲倉の棚田保全委員会、地域おこし協力隊、及び上田市立豊殿小学校に参画いただき実行性のあるプログラム作成に努めた。</p>							
今後の方向性	本年度の成果品をもとに、農業資産のPRを展開していく。							